

第7回 大宮グランドセントラルステーション推進会議 まちづくり推進部会

主なご意見

開催日時：平成30年1月19日（金）15：00～17：00

開催場所：大宮区役所南館301会議室

出席者

選出区分	役職等
学識経験者	東京大学 工学部 都市工学科 窪田 亜矢 教授
地元まちづくり団体	大宮駅東口駅前南地区まちづくり推進協議会 会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 副会長
地元まちづくり団体	大宮東口駅前街づくり会 会長
地元まちづくり団体	大宮東口駅前街づくり会 事務局長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 理事長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 専務理事
関係行政機関	さいたま市 都心整備部長（職務代理）
関係行政機関	さいたま市 大宮区 副区長
デザイン コーディネーター	アーバンデザインセンター大宮 副センター長
オブザーバー	都市再生機構（東日本都市再生本部 事業企画部） 事業企画第2課 課長

■大宮駅グランドセントラルステーション化構想（案）について

【⇒事務局からの回答】

- ・スタディパターンの「検討中区域」の表記は開発街区がそれぞれの再開発事業等を検討する際にも重要な内容になるので、取り扱いを考慮すべき。
- ・駅に降り立ったときに、まちに降りてみようと思わせるための視点場の作り方が重要である。
- ・東西通路や歩行者ネットワークについて、パースや事例など解説を丁寧に記載すべきと考える。
- ・路地と辻について、小さい店をイメージしているのか、間口の話なのか、多様性の話なのか、ということを書き込んでいった方がよい。
- ・構想が策定されるのはいつなのか。

⇒パブリックコメントを来年度実施し、夏頃を目途に策定する予定である。

■今後の検討の進め方について

- ・電力に関しては高島屋の地下変電所、産業道路に東京電力の変電所が二カ所あるが、今後、4地区がやろうとしている都市機能が決まったときに、電力供給が足りているのかどうかは、前提条件として深掘りしていく必要がある。
- ・住宅・ビジネス・商業を満遍なく産業誘致を図るべきか、特化した方がいいのか、などの都市機能の議論もしたい。
- ・整備パターンの絞込みにあたっては、社会学者等の有識者や基盤整備の専門家等の意見をお聞きし、きちんと理解した上で絞りこんでいきたい。

■まとめ

- ・魅力的な視点場を作ることは、新しい大宮のイメージを打ち出すのに非常に重要である。
- ・「イメージ」という表現は誤解を招きやすいため、「考え方」や「例」など表現の工夫が必要である。
- ・住宅・ビジネス・商業をまんべんなく誘致すべきか、どれかに特化した方がいいのかといった都市機能の議論も今後していきたい。
- ・地権者が事業の妥当性を知る場として、各街区で行政を含めた非公開の勉強会を行い、まちづくり推進部会では全体としてどうするかを議論できれば良いと考える。